

能美根上スマート IC の整備について

石川県 能美市 土木部 土木課

1. 能美市の概要

能美市は、石川県の南部、加賀平野のほぼ中央に位置し、総面積は 84.14km² で、人口約 5 万人のまちです。北側には標高 2,702m の白山を源とする手取川を境に、手取りの火祭りでお有名な川北町と北陸新幹線の総合車両基地がある白山市と接しており、県都金沢市までは約 20 km の距離にあります。また南側には日本海側の拠点空港「小松空港」がある小松市が隣接し、西側には日本海に面した美しい海岸線が広がっております。

産業では、伝統工芸品「九谷焼」の産地として陶磁器の製造・卸売業が盛んであるほか、市内に複数ある工業団地では、繊維工業や先端技術産業など製造業の国内トップ企業や特殊技術を有する中小企業など多くの企業が立地しており、県内有数の産業集積エリアとなっています。

また農業では、手取川扇状地の肥沃な土壌と水利を活かし、水稻を中心に県内有数の穀倉地帯として発展してきました。現在はそのほか「能美市地域振興作物」として、加賀丸いも、国造ゆずなどの特産物にも力を入れております。

観光面では、辰口温泉、いしかわ動物園、九谷陶芸村、能美古墳群など多様な観光資源もあり、県内外から広く観光客が訪れます。

多くの人や企業から選ばれるまちを目指す本市では、子育て・高齢者福祉施策の充実、企業誘致による安定した就労環境づくりといった取り組みに力を入れてきました。



能美市

2. スマート IC の整備について

能美市は、北陸自動車道が通過するにもかかわらず高速道路 IC が設置されていない石川県内で唯一の市でした。そのため、既設高速道路 IC アクセス 10 分圏内の空白地帯が存在しており、高速道路 IC へのアクセスが不便な状況となっていました。このことは、「いしかわ動物園」「辰口丘陵公園」などのレクリエーション施設や「辰口温泉」があり、九谷焼の掘り出し物が販売される「九谷茶碗まつり」が開催される本市にとっては、市外から多くの来訪者を迎える上で大きな課題でもありました。

さらに、本市には、手取川沿いに豊富な水資源を活用した先端産業など多数の企業が進出し企業の集積が進んでおり、これらの企業からも物流の効率化のため、スマート IC の設置が強く望まれていました。

これらの状況を解消するためには、高速道路と国・県・市道の道路網が一体となった幹線ネットワークの形成が不可欠であり、都市計画道路も含めた幹線道路網の整備・充実とともに、高速道路への結節点で

あるスマート IC の整備を進める必要がありました。

その後、平成 25 年 6 月より事業に着手し、平成 30 年 3 月 25 日に開通の日を迎えることができました。開通したスマート IC は、地域の期待に大きく応える形で、ETC 車載器搭載の全車種に対応し、24 時間利用いただける、石川県内初の本線直結型として誕生しました。

開通式典では、スマート IC に親しみをもってもらえることを目的に、「能美根上スマート IC 開通記念ウォーキング～できたての IC に会いに行こう～」と題したウォーキングイベントや、子どもたちがパトカーや消防車、建設機械に乗車体験できる「夢フェスタ」などを開催し、子どもからお年寄りまで多くの方々に参加いただきました。

まさに地域にとって待望の、「みち」と「ひと」とのふれあいを体現したものとなりました。



位置図（能美根上スマート IC）



能美根上スマート IC



開通式



能美根上スマート IC 開通記念ウォーキング
～できたての IC に会いに行こう～

3. 整備効果について

(1) 高速道路利用者の利便性向上

これまでは、北陸自動車道の小松 IC から美川 IC 間の距離は約 11km と長く、工業地帯が集積している能美市北西部には高速道路 IC へアクセス 10 分圏内の空白地帯が存在しており、高速道路 IC へのアクセスが不便な状況でありました。スマート IC の開通により、高速道路 IC 間距離が約 5～6km 程度となり、能美市内の高速道路アクセス 10 分圏域人口が約 2 割から約 8 割に拡大され、高速道路利用者の利便性向上が期待されます。

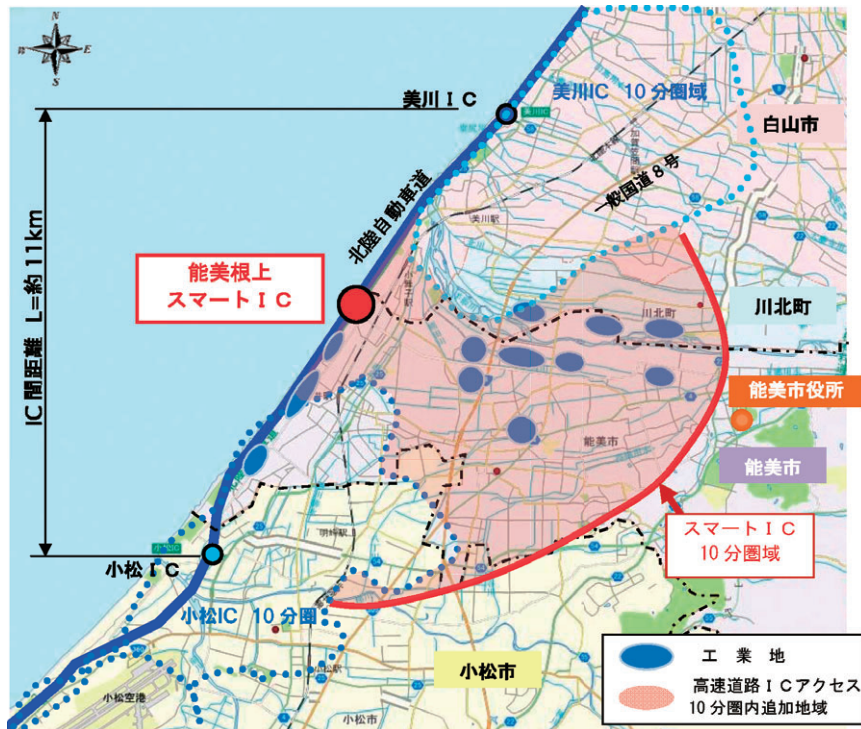


図 高速道路 IC へのアクセス 10 分圏域図

(2) 地域産業の活性化

能美市には、海岸部や手取川沿いに工業地があり、製造品出荷額は石川県内の約 1 割を占めており、それらの工業地では、金沢港を拠点とした海運や、関西・関東への資材、製品等の輸送に、約 69% が北陸自動車道を利用しています。スマート IC の開通により、既往企業の輸送時間の短縮や輸送の円滑化を支援し、新規企業の進出も期待しています。



図 能美市及び周辺の工業地立地状況

(3) 観光振興の支援

能美市には、伝統産業九谷焼、温泉、動物園、遊戯施設など数多くの観光資源がありますが、これらの施設は小松 IC、美川 IC から 15 分前後の地域に立地しており、アクセス時間の短縮が課題でした。スマート IC の開通により、観光・レクリエーション施設へのアクセス時間が短縮し、来訪者の増加が期待されます。

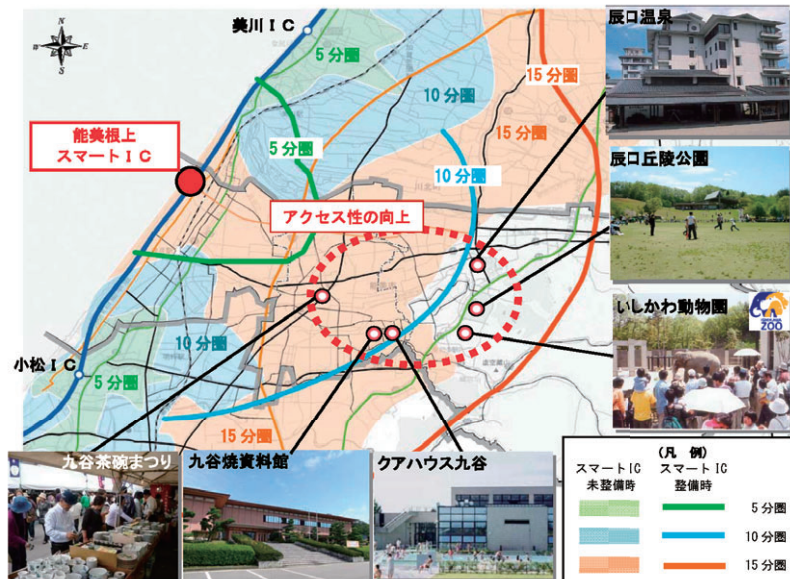


図 周辺の観光・レクリエーション施設

(4) 災害時の避難・復旧活動

スマート IC の開通により、スマート IC を経由した迅速な救急搬送や救援活動、及び支援物資の円滑な輸送が可能となり、災害時の円滑な避難や復旧活動を支援する高速道路へのアクセス向上や、広域的なネットワークが確保されます。

(5) 救急医療への支援

能美市には第3次医療施設が無いことから、救急時の迅速な搬送が課題でしたが、スマート IC の開通により、北陸自動車道への迅速なアクセスが可能となり、金沢西 IC に近接する第3次医療施設である石川県立中央病院への救急搬送時間が短縮され、救急医療への貢献が期待されます。



図 医療施設への救急搬送時間

4. おわりに

能美根上スマート IC は平成 30 年 3 月 25 日に供用開始したところであり、本スマート IC の開通により、地域産業の活性化、観光振興の支援、高速利用者の利便性の向上、災害時の避難路確保など今後の効果発現を期待しております。実際に、スマート IC 開通後から計画交通量を上回る利用が続いており、ものづくり企業の活動が活発化しているものと考えております。また、開通後約 1 年が経過した現在では、スマート IC 前に市内初となるビジネスホテルの建設が決定したところであり、陸の玄関口であるスマート IC の象徴として、産業および観光面での交流人口の更なる拡大に期待しているところであります。

本市では、能美根上スマート IC 整備事業を含む様々な施策が功を奏し人口は増加傾向にあります。しかしながら、将来的な人口減少も見据え、引き続き、市民協働でのまちづくりに取り組んでいきます。

